

第11回日本大学全国高等学校 土木設計競技



一日大土木の歴史ー

日本大学の土木工学科は、1920年（大正9年）に日本大学高等工学校として設置され、私立大学では最も歴史のある大学です。1923年の関東大震災の時に、第一期生の卒業生が震災復興で活躍し、「土木の日大」という名声を世に広めました。以後、歴史を刻み、6万人を超える卒業生を輩出し、公務員、公共法人、公共民間企業、コンサルタント、ゼネコン、専門建設、不動産、電気・ガス、運輸・通信、プラント、製造業と幅広い分野で卒業生が活躍しています。

2020年に土木工学科は創立100周年を迎え、新たなステージへ向かっています。

■第11回土木設計競技実行委員会

実行委員長 | [工 学 部] 仙頭紀明

実行委員 | [工 学 部] 石橋寛樹

[理 工 学 部] 関文夫、佐藤正己、吉田征史、三友奈々、園部雅史、山田雄太、藤井大地、

[生産工学部] 加納陽輔、中村倫明

■問合せ及び送付先：日本大学土木設計競技実行委員会事務局

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

E-mail | cst.civil.compe@nihon-u.ac.jp

<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp/>

“ボーダーレスな社会を目指して” ー日本人も外国人も楽しめる地域づくりとはー

外国人旅行者（いわゆるインバウンド）や外国人労働者の増加など、日本ではボーダーレス化が加速的に進んでいます。土木工学は Civil Engineering（市民工学）と英訳されるとおり、人々の生活基盤を様々な視点からつくり、守り、支える分野です。公共施設やライフラインの設計・建設・維持管理はもちろんのこと、地域の魅力を発信し、ボーダーレスな「まち」を形にしていくことも土木工学が担う使命の一つです。

そこで、みなさんには、身近な地元や興味のある地域を想定し、日本人と外国人がともに楽しめる、調和した（日本人と外国人にとって Win-Win な）地域づくりについて思考を巡らせ、提示してほしいと思います。来たるボーダーレス社会に向けて、土木の視点から思い描かれる明るい未来を創造し、提案されることを期待しています。

主 催：日本大学土木設計競技実行委員会

共 催：日本大学工学部土木工学科、日本大学理工学部土木工学科、日本大学生産工学部土木工学科

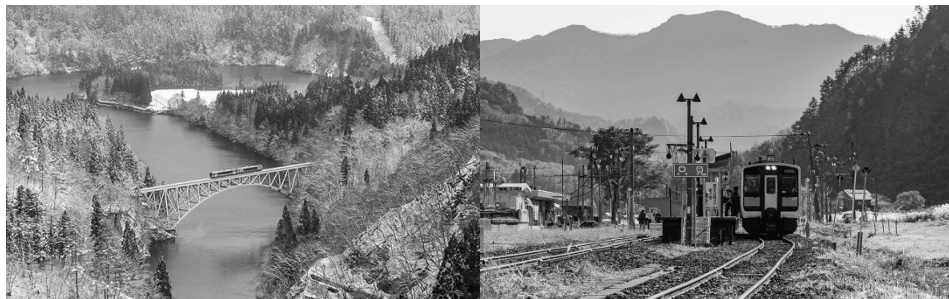
■主催者挨拶

皆さんは、“土木”という分野を知っていますか？土木は「人々の生命と財産を災害から守り、生活を豊かにする分野」です。電気、水道、下水道、ガス、通信といった皆さんの生活を支える分野、河川、道路、公園、都市計画といったまちを支える分野、高速道路、新幹線、リニアモーターカー、空港、港湾といった国土を支える分野、さらに地球温暖化や環境対策といった地球を支える分野にまで広がっています。人々を支え、まちを支え、国を支える分野に興味のある皆さんは、ぜひ土木という分野をのぞいてみてください。

2024年夏、日本大学では高校生の皆さんを対象とした第11回土木設計競技を開催します。テーマは“ボーダーレスな社会を目指して”－日本人も外国人も楽しめる地域づくりとは－です。

インバウンドの急増や外国人労働者の積極的な受入れなど、日本、ひいては世界のボーダーレス化が加速しています。土木工学はCivil Engineering（市民工学）と英訳されるとおり、人々の生活に密接し、生活の基盤を支える工学分野です。インフラの建設・整備だけでなく、人々が暮らす「まち」の在り方を考えることも土木分野に求められる重要な役割です。ボーダーレス社会に適応するには、地元にくらす日本人、外国人旅行者、そこに勤めている外国人労働者といった様々なバックグラウンドのある人々にとって魅力的で楽しい「まち」を形成していく必要があります。

そこで、みなさんには、身近な地元や興味のある地域を想定し、日本人と外国人がともに楽しめる、調和した（日本人と外国人にとってWin-Winな）地域づくりについて思考を巡らせ、提示してほしいと思います。来たるボーダーレス社会に向けて、土木の視点から思い描かれる明るい未来を創造し、提案されることを期待しています。



世界の観光地としての只見線の魅力を紹介

■応募日程

- 7月1日（月）～8月20日（火）：事前申込受付期間（申込フォームの入力は8月20日17：00まで）
- 7月29日（月）～8月20日（火）：応募作品提出期間（提出フォームの入力は8月20日18：00まで）
- 8月23日（金）：1次審査結果発表※1
- 9月15日（日）：2次審査公開プレゼンテーション※2、表彰式※3

※1 審査結果は、8月25日までに入賞者の代表メールに連絡します。

後日、土木工学科ホームページにも掲載されます。

※2 公開プレゼンテーション（2次審査）及び表彰式

日時 | 9月15日（日）午後（集合時刻は12:00を予定）

場所 | 日本大学理工学部駿河台校舎タワー・スコラ

東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

プレゼンテーションは、2名以内※4で、パワーポイント・ポスター・模型などを利用して発表して下さい。

分かりやすく、迫力のあるプレゼンテーションを期待しております。当日は審査委員から質疑がありますので、しっかりと答えてください。発表時間及び終了予定時刻は、1次審査の発表と併せてお知らせいたします。

※3 表彰式は、帰りの時間に配慮して行いますが、時間が無い場合には後日賞状などを送付させていただきます。

※4 1次審査通過者で、公開プレゼンテーション（2次審査）に参加した場合、大学までの交通費を2名分（生徒と引率教員または生徒2名分）を日帰り相当旅費として、後日実費精算させていただきます。国内であればどこでも対象となります。

■応募資格

2024年4月現在、全国の高등학교、工業高校、高等専門学校に所属する生徒の個人またはグループとします。1校から複数の個人及びグループの参加を認めます。

※ただし1グループ最大4名までとします。

■応募方法

(1) 参加申込み

8月20日（火）17：00までに、以下のフォームにて事前申込みを行ってください。

※途中で辞退しても構いません。

事前申込フォーム URL：https://forms.gle/Dx9AycDZK5zSfXBr7

(2) 参加申込みに必要な情報

①チーム名

②代表者：氏名、所属（高校名・高校住所・科名・学年）、連絡先（代表者のメールアドレス）

③参加者：氏名、科名、学年 ×（人数分）

複数の高校混成チームの場合は、参加者ごとの高校名も記載してください。

事前申込みフォーム送信後に代表者のメールアドレスに確認と連絡事項が届きます。

(3) 応募作品の提出

8月20日（火）18:00までに、事前申込フォーム送信後に送られた確認メールに記載の送信先へアップロードしてください。

■応募作品

(1) 応募作品は、ポスター形式で作成してください。A1サイズ（縦向き）とし、100MB以下のPDFデータもしくはPNG画像データにしたものを提出してください。

(2) 作品の表現は、模型写真、スケッチ、パース、CG等いずれを使用しても構いません。チームの提案する内容が伝わるように作成してください。特に、現状を踏まえた上で提案作品との違いが分かるように表現してください。

(3) 厳正なる審査を行いますので、ポスター表面には、応募高校、応募チーム名、応募者が特定できるような記載は避けてください。

(4) 応募作品は、未発表の作品に限ります。

(5) 応募した作品の著作権は、応募者に帰属しますが、応募作品の利用に関する権利は、主催者が保有するものとします。

■審査委員

審査委員長 大沢 昌玄 教授（理工学部 / 都市計画）

審査委員 手塚公裕 准教授（工学部 / 環境・水工学）

川崎洋輔 准教授（工学部 / 交通工学）

加納陽輔 教授（生産工学部 / 地盤工学）

中村倫明 准教授（生産工学部 / 海洋環境）

注）審査委員が変更される場合があります。



左から優秀賞団体用カップ、最優秀賞団体用カップ、優秀賞団体用カップ

■賞及び副賞

最優秀賞 1点 | 団体用カップ・賞状及び個人用トロフィ・賞状、図書券10万円

優秀賞 2点 | 団体用カップ・賞状及び個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム5万円

審査員特別賞 適宜 | 団体用賞状、個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム2万円

入賞 適宜 | 個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム2万円